

PCR のキャリーオーバー対策・偽陽性の防止に有用な核酸

dUTP (100 mM)

PCRでは微量の核酸を増幅できることから、同じターゲットの検出を重ねると、増幅産物のキャリーオーバーが発生して結果に重大な影響を与えます。dUTP (2'-Deoxyuridine-5'-triphosphate) をPCR又はRT-PCRに使用することで、dUを含む増幅産物を得ることができます。Uracil-DNA Glycosylase (UNG)と併用することによって、PCR反応液に混入したdUを含む増幅産物をPCR反応の前に分解し、偽陽性を防止することができます。

1. 内容物

品名	包装	Code No.	保存温度
dUTP (100 mM)	0.5 mL × 1 本	UTP-101	-20°C

2. 性能・品質

(1) PCR 機能

dNTPs Mixture (A, C, G, U each 2 mM)を調製し、λDNA の良好な増幅を確認しました。

(2) 純度

本製品に 16S, 23S-ribosomal RNA を混合して 37°C・16 時間インキュベートしても、16S, 23S-ribosomal RNA の電気泳動パターンに変化はありません。

3. 使用例

(1) dTTP の代わりに dUTP を使用

(2) dUTP を含まない PCR マスターミックスに、追加で dUTP を添加

注. dUTP に対応していないα型 DNA ポリメラーゼでは、PCR が阻害される可能性があります。

4. 関連商品

品名	包装	Code No.
Uracil-DNA Glycosylase (UNG), Heat-labile	200 U × 1 本	UNG-101
Uracil-DNA Glycosylase (UNG), Heat-labile <Glycerol Free>	200 U × 1 本	UNG-201
dNTPs Mixture (A, C, G, U each 2 mM)	1 mL × 1 本	NTP-501

TOYOBO

【製造・販売元】

—価格・在庫に関するお問い合わせ—

東洋紡株式会社 バイオプロダクト営業部 (大阪)
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田一丁目13番1号
大阪梅田ツインタワーズ・サウス
TEL 06-6348-3786 FAX 06-6348-3833
E-mail : order_lifescience@toyobo.jp

東洋紡株式会社 バイオプロダクト営業部 (東京)
〒104-8345 東京都中央区京橋一丁目17番10号 住友商事京橋ビル
TEL 03-6887-8819 FAX 03-6887-8951
E-mail : order_lifescience@toyobo.jp